

令和4年度 市場かもめこども園 自己点検・自己評価について

令和5年3月

評価の基準 A・・・よく達成できている B・・・達成できているが課題もある C・・・改善が必要

◎ 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策
教育・保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A	・新年度職員会議において、全職員に保育理念・教育・保育目標を配布、説明し周知を図っています。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	B	・子どもたちに合った、地域に合った目標を設定することができていると思う。
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	A	・こまめに職員と連携を取り、問題の早期発見や解決に努めています。また、頑張る気持ちあきらめない気持ちという目標をベースに、保育教諭主体ではなく、子どもたちが自ら考え行動を起こすことを大切に接している。
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	A	・保護者アンケートの結果から、変更できる所は、改善していった。
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	
教育・保育内容について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	B	・各年齢におけるの発達の特徴を職員で話し合い、共通理解し適切な環境を構成するなどにより活動を選択・展開している。
	(2) 認定こども園教育・保育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。	B	・手作り玩具などで年齢に合った玩具を提供できるように話し合いをしている。コーナーを作り、環境を設定することができている。
	(3) 環境構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	A	・製作する時には、必要な素材が揃っていて、活動がスムーズに行われている。
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	A	・登降園では、職員が元気よく笑顔で接し明るい対応を心がけるようにしている。
	(5) 登園・降園時ににこやかに対応しているか。	A	・個人懇談も保護者の都合のよい日程でできるようにしてすべての保護者と行っている。
	(6) 連絡帳・連絡ノート、個人懇談の活用が十分できているか。	A	・各年齢の意見を元に月1回の4園給食検討会で保育教諭と富士産業栄養士と話し合い、検討、見直しをして改善出来るように各園で報告をしている。
	(7) 給食、おやつなどのメニューに偏りはないか。	B	
	(8) 食育計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	
	(9) 乳幼児の健康管理を適切に行っているか。	A	
	(10) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	A	
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	B	・朝の視診は、しっかりと行えるように話し合いをしている。子どもたちの体調管理は、全職員で気をつけ周知しあえている。
	(2) 避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	・1年間の計画をもとに、毎月避難訓練・安全の日を行うことができています。
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	A	・流行している病気などを保護者の方に保健ボードやマチコミメール・口頭で知らせる。
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	B	・民生委員、家庭相談員と連絡を取り合うようにしている。
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか	A	・その都度臨機応変に対応できるようにしている。
	(2) 教育保育週数を確保しているか。	A	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	B	・行事の回数等は見直したと思うが、内容はだんだん高度になっている気がする。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	A	・行事をすることで、子どもたちも楽しんだり、地域の方々との交流も増えたりするが、重なること、子ども達や保育教諭に負担がかかってくるのかなと思う。
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	B	・大変な時には、加配の対応など、常に情報交換ができていると思う。
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	A	・年度末には、保護者アンケートが配布される。集計は後日書面にて報告して見直す箇所は職員間で話し合い対応出来るようにしている。
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	B	

◎教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1～2回職員が決められた時間に集まり、反省会、来週の保育計画、改善対策などの話し合いによる共通理解を図る。 ・職務内容、配置など、ごく稀にわかりづらいことがある。 ・以上児一人担任の場合、フリーで働く先生がいて助かります。 ・様々な行事を通して、係を中心に準備・進行・後片付けなどで、保育教諭が協力し、助け合って同僚性を高め合っていくようにしている。 	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	A		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	B		
		(4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	B		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	A		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	A		
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	B		
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	B		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの保育目標などについては、クラスの職員間で話をしている。 ・未満児クラスは、発達に差が出る面が多いので、個々の育ち、発達状況を見極めていかなければいけない。 ・うまく連携がとれているのか不安であったが、話し合う機会を持ち、改善されたと思う。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	B		
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B		
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	A		
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	B		
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	B		
研究・研修	園内研修・研究	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回少人数のグループに分かれて園内研修を行い、準備した資料から意見を出し合ったり、相談したりしながら、話し合いを進めている。 ・全員が何らかの研修に参加できる体制になっている。 	
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。	B		
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	B		
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	B		
	園外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	B		
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	B		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、職員間で守秘義務について話し合いを行っている。 ・管理場所が決まっている。 ・今年度はアンパンマン大型遊具の渡り木の一部を交換している。 ・園庭設備などで点検し、安全に使うことができている。 ・防犯カメラを設置して、確認をおこなっている。 		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。	B			
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	B			
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室では、玩具の消毒の際や片付けの際に玩具の点検を一緒に行い危険のないようにしている。 ・今年度はアンパンマン大型遊具の渡り木の一部を交換している。 ・園庭設備などで点検し、安全に使うことができている。 ・防犯カメラを設置して、確認をおこなっている。 		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	A			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切、且つ、効果的に活用しているか。	A			
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に運営されている。 		

◎地域の中の就学前教育施設に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
開かれた認定こども園づくり	施設間交流・連携	(1)小学校等との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。	B	・コロナ禍で、小学校との連携が少なかつたが、就学前の子どもの状況については、小学校と連携を深めてきた。入学以降の連携についてはまだ不十分などところもある。 ・実習生と関わる際の活動内容を十分に考えて関われるように配慮している。
		(2)小学校等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	B	
		(3)保育教諭同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	B	
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。	C	
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。	B	
	家庭・地域との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B	・地域保全隊の方によるじゃが芋、さつまいも掘りに参加して交流を計った。給食の献立にも入れてもらったり、クッキングにも使った。また、伊月保全隊の方からコスモス畑への招待があり、製作や写生、花摘みを地域の方に手伝って頂きながら行った。 ・乳幼児の日頃の様子を見てもらう為、玄関に写真を掲示したり、マチコミを活用したりして、行事に参加した子どもの様子を伝えている。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	A	
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	B	
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭やリズム室、子育て支援室等を開放しているか。	B	・連携をとりながら保護者の方に伝えている。 ・何かあった場合、園内だけでなく、理事長や、子育て支援課や保健センター、健康推進課の方に助言をいただき、対応している。 ・今年度は3人の一時預かり利用があり、対象年齢クラスでの保育を行う。 ・感染状況により、活動を中止することもあったが、今年度は絵本、製作の参加もあり活動が広がった。次年度入園する利用児もおり、様子を伺う機会にもなっている。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。	B	
		(3)地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。	B	
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	C	
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B	
	(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	B		
	情報の発信	(1)園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	C	・小学校・徳島新聞販売所に園の行事を配布している。月1回子育て支援たよりを園玄関、市役所で閲覧出来るようにしている。 ・毎月25日に発行している。HPIは、なかなか更新することができなかったのが今後の課題である。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B	
	外部評価	(1)第三者評価や学校評議員会等を導入し、園運営に反映しているか。	B	・コロナ禍とあって、なかなか訪問がとれなかつたが、今年度は10月に児童委員2名との交流が出来、手遊びや絵本の読み聞かせ、製作遊びを一緒にした。 ・年度末の保護者アンケートを実施し、改善点を求められている箇所においては、園や理事長と話し合い、運営に反映している。
		(2)地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。	B	